

1. 地域貢献について

【ひまわり青少年育成基金の設立】

2018年1月、「一般社団法人 ひまわり青少年育成基金」を設立し、青少年育成に関わる社会貢献活動を継続的に実施しています。

これまでの社会貢献活動として、主に下記の活動をしています。

- ①2018年1月、札幌市中央区の児童養護施設に書棚や幼児用椅子などの什器類一式を寄付。
- ②2019年5月、札幌市豊平区の児童養護施設に自転車と、同年12月、札幌市北区の児童養護施設にテントを寄付。
- ③2022年5月、札幌市南区の児童養護施設に大型テレビとアンテナを寄贈。
- ④2023年6月、札幌市南区の養護学校に医療関連用品を寄付。

【各店舗における地域貢献の取組】

①地域清掃活動(北上店をはじめ道内・東北各店舗)

岩手県の北上店では店舗周辺の清掃活動を2006年の出店時より定期的に行っており、地域住民・町内会よりお礼の言葉をいただいています。また、同様の取組は伊達店や知床店などの他店舗でも実施しています。

②児童養護施設への寄付(道内・東北の複数店舗)

ひまわり青少年育成基金の設立以前から「なんらかの原因で養育を受けられなくなった幼児・児童が生活を営む児童養護施設」に不定期ながら、家電製品や日用品・衛生用品、お菓子の詰め合わせ等を寄付を継続してきました。

これらは年1回開催されるファン感謝デーで当選者が出ずに在庫となった賞品や、災害用備蓄として調達しながら未使用だったもの、また従業員やお客様、取引先様から寄付をいただいたものの中から新品・未使用品でご利用いただけるものを選択し、施設にお渡ししています。

2017年12月には釧路店が同業のマルハン木場店様と共同で、お客様から不要な端玉景品である菓子などの提供をいただき、地元施設に寄付をさせていただきました。釧路店の取組は2023年までも継続的に実施されています。

また、2019年5月には帯広店・音更店・柏林台店が同様の取組を3店舗合同で実施、地元の養護施設にお菓子の寄付をさせていただきました。

これまでの寄贈先は札幌市北区・札幌市中央区・北広島市・帯広市・釧路店・花巻市内の施設です。

(画像は児童のプライバシー保護の為、非掲載とさせていただきました)

札幌南藻園 園長の大場信一様に目録



寄付品一例



地域清掃(北上店)



地域清掃(伊達店)



地域清掃(美幌店)



地域清掃(根室店)



③祭事・イベント協賛

本社及び各店舗それぞれが各地域の祭事・イベントへの協賛、運営のお手伝いを行っています。

「モエレ沼芸術花火大会」(札幌市：2016年・2019年)

「札幌ラーメンショー」(札幌市：2016年～)

「真駒内花火大会」(札幌市：2019年)

「ベースボールサマーキャンプ」(芦別市：2016年～)

「五所川原立佞武多祭り」(五所川原店：2011年～)

「土別ハーフマラソン大会」(土別店：2011年～)

「摩周ウインターフェスタ」(弟子屈店：2018年)

「SUMMERJACK2018」(弟子屈店：2018年～)

「屈斜路湖オープンウォータースイミング」(弟子屈店：2018年)

「釧路ラーメンフェスティバル」(釧路店：2018年)

など、今後も地域の皆様に喜んでいただけるイベントなど、協力をさせていただきます。

④交通安全キャンペーン協賛(北上店など)

北上店では出店した2006年より、地域の交通安全協会への協賛として、ドライバー・歩行者に向けた各種ノベルティグッズや活動グッズなどを継続して寄付しています。

また、これらのキャンペーン期間中は従業員も協会の方々とともに活動に参加しています。

留萌店や伊達店、滝川店でも同様の取組を実施しています。

⑤地域イベント運営協力(ファイターズ通り店)

札幌市東区のファイターズ通り店では地域で行われる様々なイベントの運営について、協力を続けています。

2016年の夏季での「焼肉パーティー」「盆踊り大会」「運動会」や、2017年1月の「冬の祭典」において、幹部・スタッフが会場となる公園の清掃、テント設営、会場アナウンス、各種設備の搬入・搬出などを担当しました。これらの取組は2024年までも続いています。

※上記の各イベントは2020～2022年、新型コロナウイルス感染防止の為、主催者判断により開催中止となったものが含まれています。

立佞武多祭り(五所川原店)



摩周ウインターフェスタ



ベースボールサマーキャンプin芦別



釧路ラーメンフェスティバル(釧路店)



交通安全キャンペーン(北上店)



地域の盆踊り大会(ファイターズ通り店)



冬の祭典(ファイターズ通り店)



地域の運動会(ファイターズ通り店)



⑥「授産製品の販売等を通じて持続可能な障がい者支援活動」事業が「組合員ホール部門」の最優秀賞に選出、受賞

全国のパチンコ・パチスロホール組合の連合会組織である全日本遊技事業協同組合連合会に所属する全国の各組合は、長年にわたり数々の社会貢献活動を実施してきました。

2005年には連合会の社会貢献事業の趣旨にご賛同いただき企業や団体の協力も得て「全日本社会貢献団体機構」を設立し、各界の専門家、有識者の皆さんに様々な助言を受けながら、全国的な枠組みの中で社会貢献事業の普及・促進ならびに広報活動を推進するとともに、独自の社会貢献事業の実施を推進し、2019年、業界をあげてパチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業と研究への支援に積極的に取り組むため、「全日本社会貢献団体機構」を「一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構」に改組しました。

本機構は、「助成事業」「依存問題への取り組み」「顕彰事業」「社会貢献フォーラム」「活動報告書の作成・配付」の5つの事業に取り組んできました。

この「顕彰事業」では、広く業界の社会貢献活動の努力を顕彰し、より一層の活動を期待して、その年の1～12月の期間、都道府県方面から申請のあったすべての社会貢献活動を「社会貢献活動審査委員会」が、審査基準に基づいて慎重に審査し、最も優れた社会貢献活動に「社会貢献大賞」を授与しています。

「社会貢献賞」には、「都道府県方面部門」「支部組合部門」「組合員ホール部門」の3部門があり、部門ごとに「最優秀賞」1件「優秀賞」3件を設けており、「社会貢献大賞」1事業、「社会貢献賞」12事業の合計13事業が表彰されています。

この度、2023年度の活動について、2024年4月5日(金)に実施した「社会貢献活動審査委員会」で審査を行った結果、弊社の「店舗内で授産製品を販売し、授産製品企画提案会や社内バザー実施、景品ブースに製品を置くとともにアールブリュット・ギャラリーを設置した。その活動により施設で働く障がい者の自己肯定感を高め、工賃を増やす事で生活の向上にもつなげる」事を目的とした「授産製品の販売等を通じて持続可能な障がい者支援活動」事業が「組合員ホール部門」の最優秀賞に選出、受賞となりました。

この取り組みは2021年8月に札幌エリアから始まり、

2024年現在では他のエリアでも実施しています。

機構の年間報告書POSC' 2023に掲載され、弊社のこれまでの社会貢献活動への積極的な取組の紹介とともに受賞結果が掲載されました。

ちなみに同賞については2019年第15回に「募玉・募メダル義援金による台風19号被災地への支援事業」が第15回社会貢献対象の最終審査まで進んだ事について「最終審査ノミネート賞」を、また、2020年第16回では「2020年12月25日に旭川市の医療施設、北海道療育園・旭川厚生病院・慶友会吉田病院の3か所に循環式空気除菌装置REALCREAN30台を寄贈」が「優秀賞」を受賞しています。

2024年7月25日(木)、第一ホテル東京(東京・新橋)にて開催された「第19回社会貢献大賞表彰式」「2024年度助成金贈呈式」にて、トロフィーと賞状を授与されました。

アールブリュット・ギャラリー(F通り店)



社会貢献機構年間報告書POSC'2023



「第19回社会貢献大賞表彰式」で授与されたトロフィーと表彰状



【活動完了・休止の取組】

当CSR上で過去に紹介した活動のうち、様々な理由から2024年現在は活動完了(または休止)となったものとして、以下の取組があります。

①プロサッカー「北海道コンサドーレ札幌」のクラブパートナー
2014年から3年間、クラブパートナー契約を締結させていただきました。2016年の最終戦「ひまわりサクスマッチ」にてJ1昇格が決定、北海道への社会貢献への成果を達成できたものとして契約を終えました。

②老人介護施設のパチンコ体験会(留萌店)

留萌地区のパチンコホールは2006年より2011年まで毎月1回の店休日が設定されていました。この店休日を利用して、地域の老人介護施設に入所されている高齢者の方々を店舗に招待し、パチンコ無料体験会を実施していました。

③遊技台装置の寄付(本社)

2010年に札幌市内の大手介護老人施設から要望を受け、家庭用電源で遊技が出来る遊技台設備を新規に制作、寄付をさせていただきました。

④24時間テレビ協賛(青森・秋田・岩手・宮城の各店舗)

2006年から2014年まで、東北エリアの各店舗において、毎年8月に日本テレビ系列にて行われているチャリティー番組「24時間テレビ 愛は地球を救う」の募金活動に協力。店舗駐車場の一角を募金会場とし、地域の方々からのご厚意をお預かりしました。(画像は一部加工しています。)

⑤防犯対策(美幌店)

美幌店では同地域のパチンコホールに呼びかけ、2009年夏より、各店舗駐車場をパトロールした際に無施錠の自転車が合った場合には、店舗側で用意したチェーンロックを施錠し、お帰りの際にお声がけをお願いするプレートを掲示しています。美幌署管内では、この対策を実施以降、パチンコホールでの盗難は発生していないとの事です。

⑥エコキャップ活動によるワクチン寄贈

2008年末から2012年3月まで、「エコキャップ活動」を全店で展開しました。お客様のご協力により、2011年末までの3年間で収集したキャップは2,745,880個となり、ポリオワクチン3,077人分、19,387kgの二酸化炭素の発生を防止した計算となりました。

パチンコ体験会(留萌店)



遊技台設備の寄付



24時間テレビ協賛(東北地区)



防犯対策を取り上げた美幌新聞(美幌店)



エコキャップ活動

